

メディアのみなさまへ

平成 27 年 10 月 22 日  
福岡市博物館

## 平成 27 年 10 月 25 日 (日) 13:30～ シンポジウム「志賀島から考える福岡の歴史資源」を、 福岡市博物館にて開催します。

事前の市民の皆様への周知、また、当日のご取材をたまわりますよう、お願いいたします。

### 開催概要

- (1) 名 称：シンポジウム「志賀島から考える福岡の歴史資源」
- (2) 日 時：平成 27 年 10 月 25 日 (日) 13:30～
- (3) 会 場：福岡市博物館 (〒814-0001 早良区百道浜 3-1-1) 講堂 (1F)  
事前申込み不要 当日 12 時から整理券配布

- (4) プログラム：

司会	有馬 学 (福岡市博物館長)
コメンテーター	千 相哲氏 (九州産業大学教授)
講演 1	「万葉集と鴻臚館の時代」 菅波正人 (福岡市文化財部鴻臚館跡整備係長)
講演 2	「志賀島の信仰と美術」 末吉武史 (博物館主任学芸主事)
講演 3	「蒙古襲来」 堀本一繁 (博物館主任学芸主事)
講演 4	「志賀島のまつりと文化」 松村利規 (博物館主任学芸主事)
*****	
コメント・ディスカッション	観光・地域活性化などの観点から

- (5) 趣 旨：金印発見の地として知られる志賀島は、古代には万葉集に詠まれ、中世には蒙古襲来の戦場となるなど歴史の舞台によく登場します。また、由緒ある寺社と文化財、連綿と営まれてきた民俗行事も存在しており、注目すべき歴史資源・文化資源に恵まれた地域です。いっぽう、地域コミュニティは、少子高齢化、産業の後継者不足など、将来を展望するうえで克服すべき課題に直面しています。

このシンポジウムでは、開館 25 周年を迎えた福岡市博物館がこれまで蓄積してきた志賀島の文化に関する諸分野の研究成果を、一堂に紹介します。島ならではの歴史・文化資源を、今後、どのようにして地域の力としていくのか、お集まりの皆さんといっしょに考えることを、ねらいとしています。

- (6) 背 景：このシンポジウムは、「博多湾岸《金印ロード》プロジェクト事業」の一環です。プロジェクトは、福岡市博物館が、金印発見の地・志賀島&金印のあるまち・シーサイドももちの2つの地域コミュニティとともに、さまざまな人と力をあわせ、博多湾岸の歴史資源の魅力を発掘・発信していくことを目的としています。国 (文化庁) の「平成 27 年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」採択事業です。

■事業担当者 (お問い合わせ先)  
福岡市博物館 学芸課 杉山未菜子  
電話 092-845-5011 / 090-7927-3211 FAX 845-5019